

フィリピン大統領による布告第1754号

自2009年4月21日至5月1日の期間を「国際労働機関週間」と宣言する

国際労働機関(ILO)は、2009年にその90周年を迎え、他方ILO憲章の重要な付属文書であるフィラデルフィア宣言は65周年を迎えることになっており、

1948年以来ILOの活発なメンバーとなってきたフィリピンは、ILOの理想と原則を追求するというその公約を向上させたいと希求するものであり、

フィリピン共和国は、その社会的パートナー(政府、使用者および労働者団体)を通じて、国際的平和と社会正義を推進するというILOの任務に対する事故の全面的な支持と協力を再確認するものであり、

よって、フィリピン共和国の大統領である私グロリア・マカパガル＝アロヨは、法律により私に付与された権限を行使して、ここに、自2009年4月21日至5月1日の期間を「国際労働機関週間」と宣言する。

この目的のため、私は、労働雇用省長官が使用者および労働者団体との密接な協力のもとに、「国際労働機関週間」を記念するための活動の先頭に立ちかつそれを調整するよう要求する。

私は、政府のすべての省長官、局、室、出先機関および代行機関、とりわけILOプロジェクトに關与しているもの、非政府組織および民間部門が、「国際労働機関週間」を記念する行事およびプログラムを活発に主導するよう要求する。

私は、教育省長官が全国のすべての学校、とりわけ初等および高等学校に対して、殊にこの出来事の記念期間中に各学校自身のILO認識諸活動を実施するよう指示することを要求する。

私は、広報室長、マスメディアならびに文化的および市民的諸機関の構成員が、フィリピンにおけるILO認識を育成するためのキャンペーンを活発に支持しかつそこにおいて主導的な役割を果たすよう要求する。

以上の証として、私は、ここに自署すると共にフィリピン共和国の国璽を押捺させた。

本日、2009年4月14日、マニラ市において作成。

大統領により(署名)

秘書官長エドゥアルド・R・エルミタ(署名)

【訳注】:原文をチェックしたい人は下記Webサイトにアクセスして下さい。

<http://www.op.gov.ph/directives/Proc1754.pdf>